

学校だより

第5号 ひたちなか市立勝倉小学校
令和6年5月23日(木)発行
児童数 307名 実家庭239戸



運動会スローガン

無敵な笑顔 心を一つに走りぬけ

5月18日、最高のお天気の下、運動会を実施いたしました。

「無敵な笑顔 心を一つに走りぬけ」のスローガンの通り、子供たちは練習の成果を存分に発揮し、笑顔いっぱい躍動する姿が見られました。保護者の皆様や地域の皆様にたくさん応援していただき、子供たちはとても嬉しそうでした。やはり、行事は学校生活に彩りを与える大切なものだと感じております。

また、保護者の皆様には、運動会後の後片付けや引き渡し訓練にもご協力いただき感謝申し上げます。ありがとうございました。

運動会を終えて・・・

学校だより5号、6号では、運動会を終えた子供たちの作文を一部抜粋してご紹介します。5号では、4、5、6年生の作文を紹介します。

わたしは、運動会でがんばったことが二つあります。一つ目は大玉ころがしをがんばりました。二回しか練習がなかったのでがんばりました。二つ目はダンスをがんばりました。みんなの前でおどるのは、はずかしかったけれどまちがえずにきれいにおどれました。 4年Kさん



たいこの音が鳴ったとき、私はとてもドキドキしました「いくぞ!」「オー!」走って位置につき、かまえました。それまではきんちょうでまわりの音が聞こえませんでした。最後の運動会楽しんでね。」と母に言われたのを思い出し、思い切り踊りました。かけ声もうまくいってうれしかったです。係活動もがんばりました。父が「仕事は一生懸命楽しんでもん勝ちだな。」と言っていて「確かに。」と思いました。家族や先生方のおかげで最高の運動会でした。 6年Yさん

運動会前、個人走が一番ではなくていいから本気を出してがんばって走りたい、勝倉ソーランは、6年生と協力して最高の踊りになるように練習をがんばりたいと思っていた。運動会を終えて、親に「ソーラン、かっこよかった。」と言ってもらえてすごくうれしかった。どの学年もがんばって練習したのが伝わってきた。 5年Oさん

